



横浜のチャレンジする中小企業を応援します!!

NEWS LETTER

IDEC ニュースレター

No.30

夏
2019

(年4回発行)

【発行】公益財団法人横浜企業経営支援財団

〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23
横浜メディア・ビジネスセンター7F
TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737
http://www.idec.or.jp

IDEC
YOKOHAMA



IDEC



Facebook

「こちらから伺います！」 小規模事業者向け無料出張相談を スタートしました。

私どものご支援を契機に販路拡大につなげている小規模事業者の皆さまをご紹介します。

ラグビーワールドカップ2019を盛り上げます! おいぬビジョン(鶴見区)



小堀さんと審判用カメラ

おいぬビジョンは映像関連機器を開発するベンチャー企業として、IDEC横浜の施設で研究開発を進めています。テクニカルショウヨコハマのIDEC横浜ブースへの出展がきっかけで日本テレビと共同開発へと発展。プロ野球中継で使用される審判用カメラや、サッカーのゴールネットが揺れる映像を撮影するカメラなどを開発しています。「これまで放送規格に則った小型のカメラはあまりなかった。」と開発経緯を語る小堀さんは、今回、ラグビーの審判用カメラの開発にも成功。審判の胸部にカメラを、腰にバッテリーと映像の送信機をつけるもので、スクラムのシーンなど臨場感溢れる映像を撮影することができるようになり、国際レベルでの試合でも採用されました。

ラグビーワールドカップ2019の決勝の地は横浜。その横浜で横浜発の技術により撮影された興奮と感動の映像が世界中に放映されるかもしれません。

「香り×最新テクノロジー」で 新しいライフスタイルを提案します! - コードミー(西区)

10年以上大手の香料会社でフレグランスの開発を手掛けていた太田社長は、自身の経験と最新テクノロジーを組み合わせ、パーソナライズした「香り」を創るため、2017年4月に

起業しました。太田社長は事業の実現性を図るため、IDEC横浜の経営相談でアドバイスを受けながらビジネスプランコンテストやクラウドファンディングにも挑戦し、入念な準備をしました。



起業後に果敢に挑戦する太田社長

「IDEC横浜に相談したからこそ、難しいとされる資金調達もで

きました。」と太田社長。さらに、「人と会うことで得られる情報がビジネスの新しいチャンスにつながります。」と、IDEC横浜のコーディネーターと常に情報交換をする中で、大手企業とのビジネスマッチングにもつなげています。

広告屋「アドヤン」が思いをカタチにします!(中区)

アドヤンは、不動産業界に強い広告代理店です。「経験、業界知識、ノウハウがある。それなら独立してみようと思いました。」と、不動産専門の広告代理店に20年在籍した橋本社長が立ち上げました。

個人事業主として独立した当初入居したのは、IDEC横浜が運営する女性起業家向けシェアオフィス「F-SUSよこはま」。入居者向け支援メニューを利用する中で、事業について相談ができたり、同じ志を持つ仲間もできたりしました。そして、2016年には法人化を果たし、市内にオフィスを構えました。

「お金のことや経営者としての判断で迷ったとき、IDEC横浜に相談に行きます。ここでは、F-SUSよこはま在籍時にお世話になった場所。恥ずかしくない報告ができるよう、頑張っています。」と橋本社長は語ります。



キャラクター(アドヤン坊や)と橋本社長

■ Pick Up

協進印刷と太陽住建の2社が栄冠!横浜型地域貢献企業プレミアム表彰

平成19年度に横浜型地域貢献企業認定制度が始まり10年余が経過し、認定企業は471社となりました。(平成31年4月現在)。そのなかでも、特に他社の模範となる取組を行っている企業等をプレミアム企業として表彰しています。書類とプレゼンテーションによる審査を経て、平成30年度は2社がプレミアム企業として表彰されました。両社は3月26日に横浜情報文化センターで開催された認定証授与式において、横浜を代表するCSR推進企業として横浜市長名で表彰状を授与され、認定企業の前で取組事例の発表を行いました。

「市内幼稚園・保育園等に『ぼうさいえほん』の配布」の取組で受賞した協進印刷(神奈川区)は、未就学児向けの防災教材を幼稚園・保育園等に配布し、絵本の読み聞かせをきっかけとした防災教育への取組が評価されました。印刷物を活用することによって、印刷物の有効性を見直してもらいながら、協賛依頼を行うことでCSRに関心のある企業や団体とのネットワークが構築でき、本業に対しても良い影響がでているそうです。絵本配布の効果について、アンケートやヒアリング等により検証し、次の



経済局長から表彰状を授与(左:協進印刷、右:太陽住建)

取組の計画につなげています。

「屋根借りプロジェクト」の取組で受賞した太陽住建(南区)は、社会福祉法人等で未利用となっている屋上に太陽光パネルを設置していく際、障害者が作業に関与する仕組みをつくりました。作業工程を細分化する等の工夫と、従業員のサポートによって参加しやすくし、障害者の就労支援につながる取組となっています。

横浜型地域貢献企業の詳細はこちら <https://www.idec.or.jp/keiei/csr/>

問 経営支援担当 045-225-3714

横浜のものづくり技術 ミラノから世界へ

横浜市内の若手経営者10社で構成されるものづくりグループ、ヨコハマメーカーズヴィレッジ(YMV)が4月、イタリア・ミラノで開催された世界最大規模のデザインの祭典「ミラノデザインウィーク2019」に出展しました。

3回目の出展となる今回は、金属のプロダクトブランド「IKIMONO」と題し、空気、水、光、熱、磁力といった自然エネルギーの力や機能を表現した10点の作品を展示しました。

会期中は1日あたり3,000人程がYMVブースを訪れ、ペンが空中に浮遊するように固定される「Magnetペンホルダー」など、興味深く作品を手に取りながら楽しむ来場者の姿が印象的でした。

継続的な出展によって、以前の出展作品を覚えている来場者も多く、確実にYMVの認知度が高まっていることが感じられました。また、世界的なインテリアデザイン雑誌「Elle DÉCOR」に今回の作品が掲載されるなど、現地メディアの注目も集めていました。

IDEC横浜では、YMVの取組に対し、3年前の経産省のJAPANブランド育成支援事業の採択から商品開発・販路開拓まで、一貫した支援をしてきました。ミラノでの出展から更なる飛躍を目指すYMVの挑戦をこれからも応援していきます。



YMV代表の藤澤氏(左)と在ミラノ総領事雨宮氏(中)

問 経営支援担当 045-225-3725

■ Pick Up

少額投資で「見える化」実現！—大野製作所

IDEC横浜では、技術相談やコーディネーター事業を通じ、中小企業のデジタル活用を支援しています。その事例を紹介します。

大野製作所（都筑区）は、産業用バルブや自動車関連試作部品を主力製品としているメーカー。生産性向上のための改善や製品不良率の低減が課題となっていました。これらの解決に向け、IDEC横浜のアドバイザーとディスカッションを重ねました。結果、主要設備であるマシニングセンターに、切削油の濃度モニターと無線通信モジュールを組み合わせて設置することになりました。

まずは1セットを試験的に導入、稼働させたところ、切削油の温度や濃度の制御、自動計測、見える化が実現し、不良品発生率を抑えることに成功。今後は効果を検証し導入台数を増やしていく予定です。

今回の濃度モニター等の導入には26万円必要でしたが、横浜市のIoT補助金*を活用し、実質16万円に抑えることができました。このように行政等の支援制度を活用し、投資を抑え、かつできる部分からデジタルに移行させていくことが、スマートファクトリー実現のためのキーポイントと言えるでしょう。



設備に濃度モニターを取り付けた様子

* 本年度は補助上限額が変更されています。

IoTに関する相談や専門家派遣はこちらから

問 技術支援担当 045-225-3733

SDGsビジネスでアフリカ進出を狙うフジケン

フジケン（鶴見区）は、8月に横浜で開催される第7回アフリカ開発会議（TICAD7）に併せて開催される「日本・アフリカビジネスフォーラム&EXPO」のジャパン・フェアに出展し、アフリカ各国から訪れる首脳やビジネス関係者に小型粉摺り精米機をアピールします。

同社では、昨年からIDEC横浜の海外市場開拓支援事業を利用して、コメの生産が世界的に一番伸びているアフリカの市場性に注目して調査を進めてきました。今年2月にJICAが実施したケニア・タンザニアのスタディツアーに採択されて現地調査を行ったところ、小規模農家の収入向上や技術力の向上が課題となっていること、低性能な精米機による精米品質の悪さが問題となっていることなどが分かりました。

同社の製品は粉摺りの基幹部品「インペラ」に強みがあります。市場に多く出回っているロール式よりも操作



アフリカ農家の所得向上に繋がれば、と藤田社長（中央右）

が簡単で小石などの異物混入による故障に強く、高い歩留まりに貢献します。インペラを水平設置することで小型化を実現し、海外で主流の長粒種米にも対応できるようになりました。この製品がアフリカ諸国の小規模農家の課題とマッチし、農家の確実な収入の向上につながることを期待しています。

海外市場開拓支援事業の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kaigai/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

IDEC横浜 上海事務所レポート グリーンテクノロジー分野のプラットフォームに参画を

IDEC横浜では2018年、上海科学技術交流中心と「両市企業間の共同開発やビジネス連携の支援」に関する覚書を締結しました。同中心は1973年に設立された上海市科学技術委員会の外郭団体で、上海市内の業界団体や企業等と連携し、経済発展を推進しています。

2019年5月、同中心の王主任をはじめとする代表団が来浜しました。同中心では環境対策や地球温暖化対策等に向け、「グリーンテクノロジー分

野」の国際的な技術連携プラットフォームを構築しています。有望な技術を収集し、製品化に向け、いかに資金を効果的に投入していくか等、まさに「産学官金連携」による各種情報が集約されたプラットフォームです。そのため、今回の代表団の中に、上海财经大学の国際金融センター研究院の院長も含まれていました。9月には上海で国際フォーラムが開催され、世界各国からの参加者が予定されています。

今後、「環境・省エネ」等に直接、携



上海科学技術交流中心の王主任（右2番目）ら代表団

わる企業だけでなく、「ICT（情報通信技術）」等の技術応用により、「グリーンテクノロジー分野」の発展に向け、ぜひ、ご参画ください。

上海事務所の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shanghai/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

■ インキュベーション・マネージャー (IM) のご紹介 ~今年度当初から鶴見末広センターに常駐しています~

潮崎 隆彦 IM
(原則 月・金 常駐)



横浜から世界に羽ばたく企業の皆さまをご支援できることを光栄に思います。私自身も新規事業開発で、1を100にするより0(ゼロ)を1にする難しさを経験しました。入居企業の皆さまの様々なニーズにお応えするには、私一人では力不足ですが、兼任する“ものづくりコーディネーター”のネットワークもフルに活用して、一つでも多くご満足いただけるよう努力いたしますので、よろしくお願ひします。

石川 博樹 IM
(原則 火・水・木 常駐)



入居企業の皆さまや、これから入居をお考えの企業の皆さまが抱えている将来に向けての成長への「思い」を拝聴し、皆さまに寄り添って「夢」の実現に向けてサポートします!資金繰りや販路開拓などの経営課題の解決に向けて、どんなことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。これからも皆さまが「IDEC横浜を利用して本当に良かった」と実感していただけるように経営支援に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひします!

**第7回アフリカ開発会議(TICAD7)横浜開催
「日本・アフリカビジネスフォーラム&EXPO
ビジネス EXPO」についてのお知らせ**

アフリカの開発をテーマとする国際会議「アフリカ開発会議」(TICAD)が8月28日~30日にパシフィコ横浜で開催されます。

アフリカ各国の首脳他が出席する本会議に加え、一般参加可能なイベントやセミナー等も多数開催されます。

なかでも、日本企業の製品・技術の展示やアフリカ各国の投資環境等を紹介することで、今後のビジネス展開のきっかけとしていただく「日本・アフリカビジネスフォーラム&EXPO ビジネスEXPO」(主催:日本貿易振興機構(ジェトロ))では、横浜市他、多くの日本企業やアフリカ各国がブースを出展します。ぜひお越しください。

詳しくはこちら

<https://www.jetro.go.jp/news/releases/2019/6d75068e74cf1c91.html>

★TICAD7横浜開催に向けての横浜市の取組についてはこちらをご覧ください。

<https://ticad7.city.yokohama.lg.jp/>

TICAD7横浜

検索



【開催日】

8月28日(水)から8月30日(金)まで

【会場】

パシフィコ横浜 展示ホールD
(横浜市西区みなとみらい 1-1-1)

【問合せ先】

ジェトロ 市場開拓・展示事業課

TEL:03-3582-5242

Eメール:ticad7-jf@jetro.go.jp

広告

くらしとしごと 夢ある未来

私たちはICTを通じて、

豊かな地域社会の発展と夢ある未来の創造に貢献します。

株式会社
Yec
ワイイーシーソリューションズ

<http://www.yec.ne.jp/>



広告の内容に関する一切の責任は、広告主に帰属します。

編集
後記

小規模事業者向け無料出張相談がスタートし、IDEC横浜の職員や専門家が市内各所に訪問する機会がさらに増えています。本号でも、市内企業の取組やIDEC横浜の支援事例をいくつかご紹介しましたが、皆さまにお届けしたい情報がまだまだたくさんございます。支援事例のほか、セミナー等のイベント情報、IDEC横浜の支援メニューの詳細など、ウェブサイトやFacebookでも随時ご案内しておりますので、皆さまぜひともそちらもご覧になってください。